

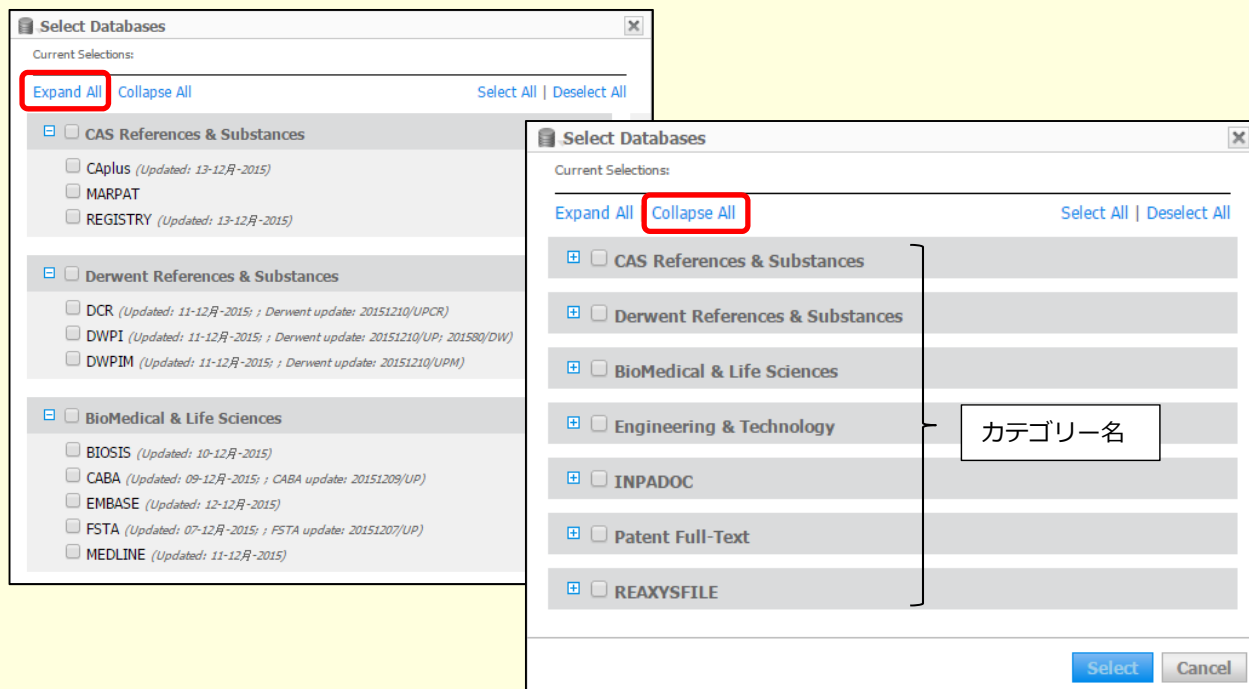


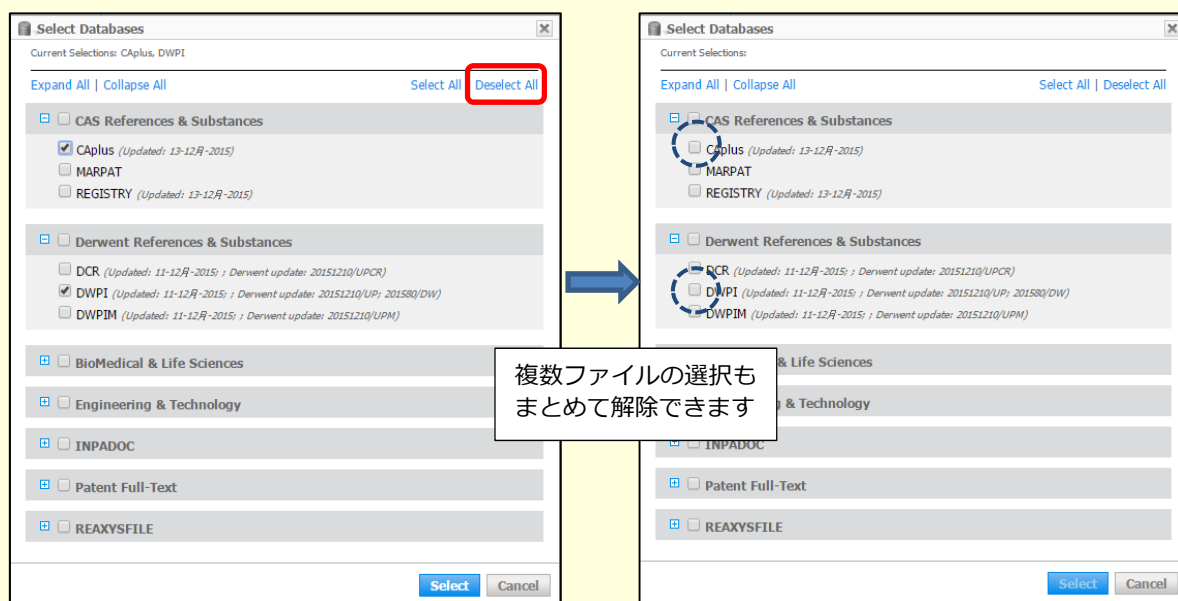
今回の強化では、データベース選択画面が強化され、データベースの複数選択や切り替えがよりスムーズに行えるようになりました。また、ヒットしたマルクーシュ構造が CAPlus ファイルで表示可能になり、MARPAT/CAPlus ファイルの検索結果の確認が便利になりました。

### ◆◆◆ データベース選択画面の強化 ◆◆◆

データベースをカテゴリーで選択できるようになりました。また、「Expand All」「Collapse All」や   でカテゴリーの展開/折りたたみが可能です。



「Deselect All」でデータベース選択を解除できるので、途中でデータベースを切り替えたいときに便利です。



### ◆◆◆ フィルター機能の強化 ◆◆◆

CAplus ファイルのフィルターに出願人 (Patent Assignee) と発明者 (Inventor) が追加されました。また、解析結果が 20 タームまで一度に表示されるようになりました。(従来は 10 タームまで)

**New !** **Inventor**

**New !** **Patent Assignee**

一度に 20 タームまで表示

Assignee	#	%
Beecham Group Plc	13	19.4%
Merck Patent G M B H	5	7.5%
Sanofi	5	7.5%
American Home Products Corp	4	6.0%
E R Squibb And Sons Inc	3	4.5%
Hoechst A -G	3	4.5%
Janssen Pharmaceutica N V	3	4.5%
Yoshitomi Pharmace Industries Ltd		
Japan Tobacco Inc		
Alkaloida Vegyeszeti Gyar Rt	1	1.5%
Allergan Sales Inc	1	1.5%
Almirall S A	1	1.5%
Astellas Pharma Inc	1	1.5%
Astrazeneca Uk Limited	1	1.5%
Bartik Tamas	1	1.5%
Chugai Seiyaku K K	1	1.5%
Cytovia Inc	1	1.5%
Eszenyi Tibor	1	1.5%
F Hoffmann-La Roche A -G	1	1.5%
Frank Laszlo	1	1.5%

### ◆◆◆ CAplus ファイルの強化 ◆◆◆

MARPAT ファイルからのクロスオーバー検索を行った際、ヒットしたマルクーシュ構造を CAplus ファイル内で表示できるようになりました。これにより書誌情報とヒットしたマルクーシュ構造を同時に確認できるようになりました。

ヒットしたマルクーシュ構造の表示/非表示切り替え

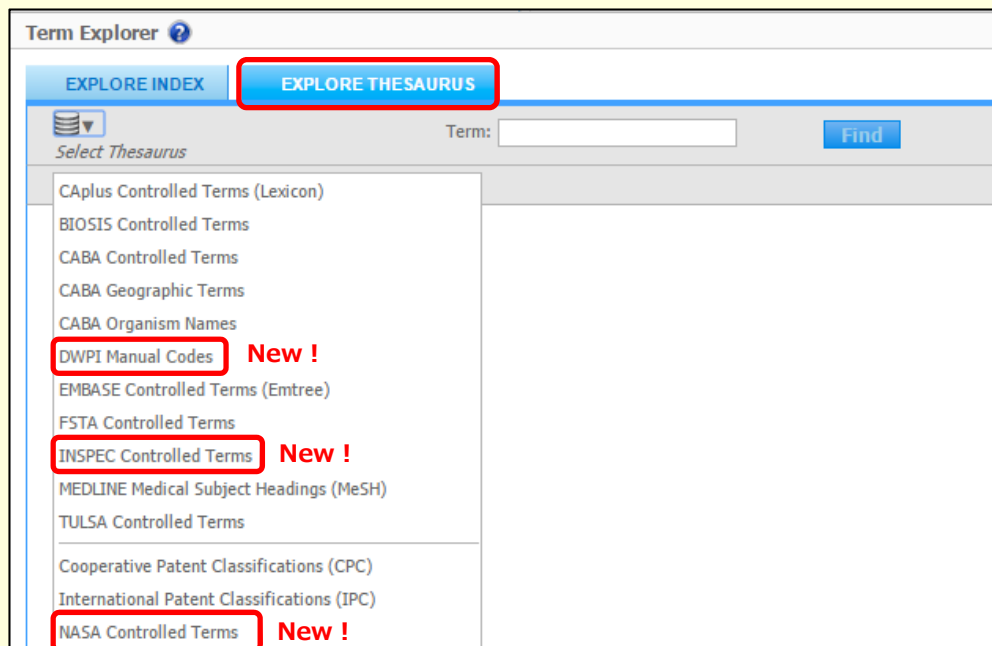
324: any ring <containing 5-14 atoms, zero or more heteroatoms, zero or more N, zero or more O, zero or more S (no other heteroatoms), aromatic, 2 or more double bonds> (substd. by G2)

331: alkyl <containing 1-6 C> (opt. substd. by G14)

513: alkyl <containing 1-6 C> (opt. substd. by G14)

## ◆◆◆ 新規シソーラスの追加 (EXPLORE THESAURUS) ◆◆◆

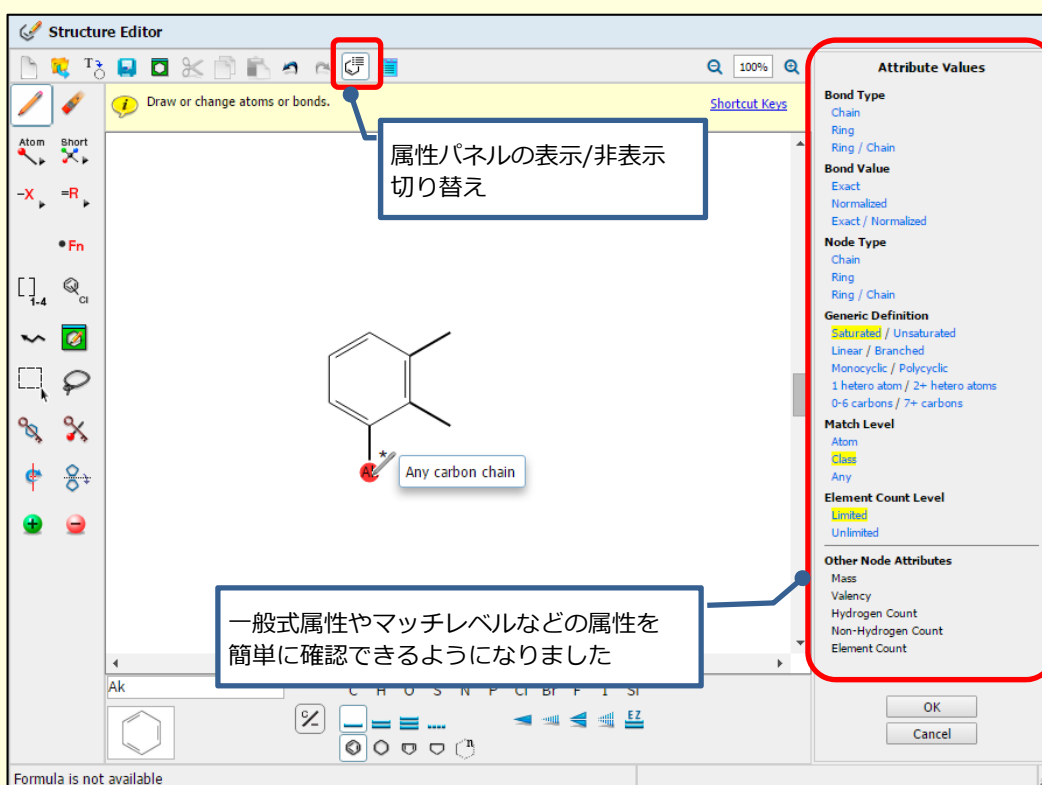
DWPI ファイルのマニュアルコード (MC) シソーラス, INSPEC ファイルの統制語シソーラス, NASA 統制語シソーラス (航空宇宙工学, その他工学・物理学分野等の用語) が追加されました。



## ◆◆◆ 構造作図関連の強化 ◆◆◆

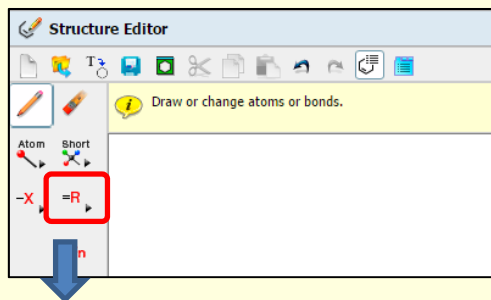
### ■ 属性パネルの表示

構造作図ツールに属性パネルが追加され, 属性を簡単に確認できるようになりました。



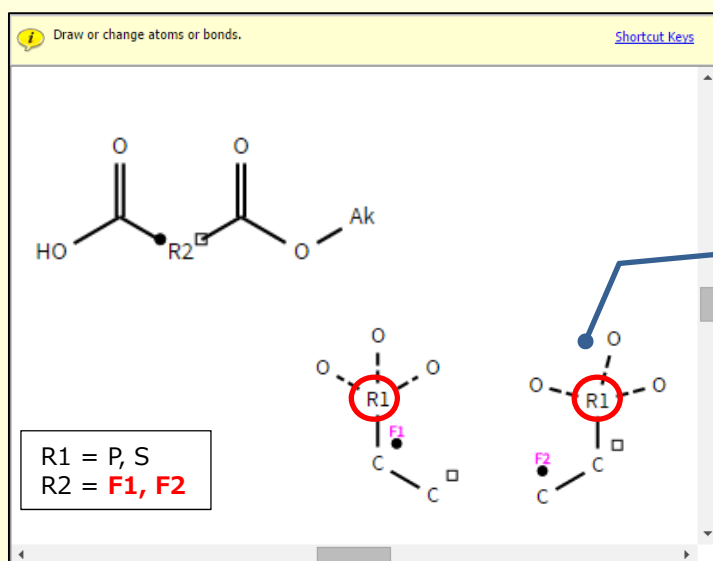
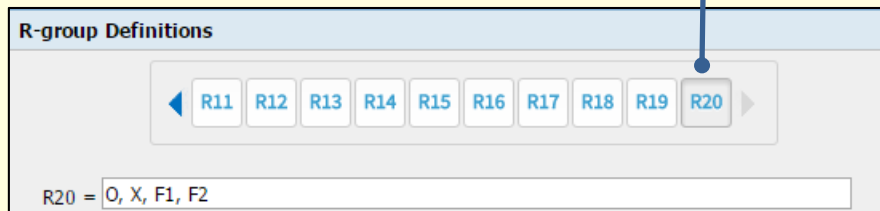
## ■ R グループ機能の強化

STN 新プラットフォームの詳細は  
 弊協会ホームページをご覧ください。  
<http://www.jaici.or.jp/newstn/index.html>



1 つの構造質問式中で R グループを 20 個  
 まで作成できるようになりました  
 (従来は 10 個まで)

\* REGISTRY, MARPAT ファイルのみ

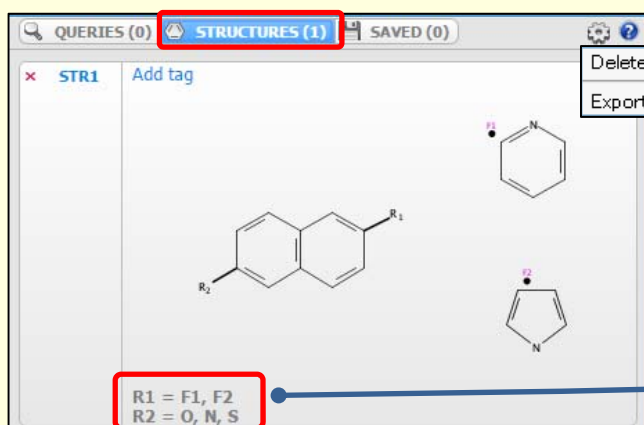


R グループを含むフラグメントを  
 別の R グループの定義に含められる  
 ようになりました

\* REGISTRY, MARPAT ファイルのみ

## ■ R グループの定義の表示

R グループの定義が STRUCTURES タブ中で確認できるようになりました。



Delete History  
 Export Search History

エクスポートした検索履歴にも  
 R グループの定義が含まれます

STRUCTURES タブに表示される構造質問式  
 に, R グループの定義が含まれるよう  
 になりました